

當麻家所藏文書



- 〔指定年月日〕 平成七年一月二十九日
- 〔種別〕 平成一七年三月二三日追加指定有形文化財（古文書）
- 〔名称〕 當麻家所藏文書
- 〔点数〕 六〇三点
- 〔所有者等〕 個人
- 〔所在地等〕 和泉三丁目

當麻家所蔵文書

當麻家は和泉村の旧家で一族からは名主役を務めた人物も出ていた。当主は、かつては代々小右衛門を襲名したという。維新後現当主の祖父（初名清次郎）は、鈴木権之助と共に和泉村の地租改正掛を務めた。本文書の多くは、この祖父の代に當麻家に伝えられたものと思われる。

本文書は、平成七年に一〇三点の文書が指定され、平成一六年に新たに発見された五〇〇点を追加指定した。主に明治期の和泉村に関する古文書である。特に地租改正にかかわる文書が多く、これは当時の当主小右衛門が地租改正掛であったことによる。また、小右衛門は学務委員・校務委員にも就いており、明治一〇年代の学校に関する資料も含まれている。大正一二年（一九二三）まで村内にあった陸軍火薬庫、明治七年（一八七四）に廃寺となった日照寺などの村内社寺に関する資料もある。

また、明治一一年（一八七八）から同二十一年までの和泉・和田・堀之内・永福寺村の四か村連合役場時代の役場関係資料が多いことも注目される。この役場関係の資料は年代や内容ともに無造作につづられて、まとめられているものが十数冊存在する。他に明治から昭和にかけて和泉地区で断続的に行われていた、武蔵国御嶽神社への代参講である元和泉村講の帳簿があり、当地区の民間信仰をうかがい知ることのできる貴重な資料である。

【文化財所在地】

